

追加のローカルルールと競技の条件

【ローカルルール】

U字排水溝に乗っている木材の救済（規則 16）

プレーヤーの球がU字排水溝に乗っている木材に触れている場合、あるいはプレーヤーの意図するスイング区域の障害となっている場合、規則 16.1b に基づいて救済を受けることができる。

カート道路脇のタイヤ痕及び排水溝に向かう水路の救済（規則 16）

プレーヤーの球がカート道路脇のタイヤ痕及び排水溝に向かう水路等により、障害がある場合、規則 16.1b に基づいて救済を受けることができる。

プレー禁止の修理地（規則 16）

NO14、15、16 ホールにある、ピンクリボンで示した修理地は、プレー禁止区域であり、異常なコース状態として扱われる。規則 16.1f に基づき、そのプレー禁止区域による障害からの罰なしの救済を受けなければならない。

【競技の条件】

プレーのペースについて（規則 5.6）

各ホールのプレーに許される時間の限度を記載した「タイムパー」をスタート時に配布するので、これに遅れないこと。特別な事情もないのにこの時間より遅れた場合（アウトオブポジション）、ストロークに要する許容時間を個別に計測する。

※アウトオブポジションに該当しなくとも遅れが生じていると委員会が判断した組に対してはペースの回復を求めることがある。

※特定の選手のペースが著しく遅い場合はその組がアウトオブポジションに該当しなくとも、その選手に通知した上でショットに要する時間を計測し、罰則を適用することがある。

(a) アウトオブポジションの定義

次の両方に当てはまった時、その組はアウトオブポジションとなる。

- (1) あるホールのプレーを終えた時点で、スタートからそこまでの実際の所要時間の合計が、「タイムパー」に記載された時間をオーバーした場合。
- (2) 第2組以降の組では、前の組との間隔がスタート時点での間隔時間を超えた場合。

(b) アウトオブポジションとなった場合の措置

あるホールを終えてある組が特別な事情がないのにアウトオブポジションとなった場合、競技委員はホールとホールの間でその組全員にアウトオブポジションとなったこと及び次のホールから各プレーヤーの全てのストロークに要する時間を計測することを通知する。委員会がその組の各競技者のストロークに要する時間を計測し (c) の許容時間を超えた場合、プレーヤーに (d) の罰則が適用される。

例外：特別な事情（ルーリングや紛失球等）があったと委員会が判断した場合、委員会はその組に対して前の組との間隔を縮めるように求める。その結果、合理的時間内に遅れを取り戻すことができれば、各競技者のストロークに要する時間は計測しない。

(c) ストロークに要する許容時間

原則：40 秒

例外：パー3 ホールにおいて最初にプレーする者、パー4 とパー5 のホールにおいて第2打地点から最初にプレーする者、パッティンググリーン周辺やパッティンググリーンの上で最初にプレーする者のショットの許容時間は50秒とする。

注：ストロークに要する許容時間の計測は、そのプレーヤーの順番が回ってきた時に開始される。

(d) 罰則

警告 — 委員会から口頭での注意

最初の違反 — 1 罰打

2 回目の違反 — 一般の罰（最初の違反の罰に加えて適用される）

3 回目の違反 — 失格

注：アウトオブポジションとなった組は、その後で遅れを取り戻しても、そのラウンドが終了するまで持ち越される。

競技委員長